

解	新聞、テレビ、ラジオ
禁	平成16年10月8日

「多自然型川づくり研究発表会及び講演会」 を開催

記 者 発 表 資 料

沖縄総合事務局、沖縄県、沖縄玉水ネットワークの3者は、沖縄のより良い川づくりをめざして、下記のとおり「多自然型川づくり」に関する研究発表会及び講演会を開催する予定ですのでお知らせします。なお、研究発表会及び講演会とも入場無料で、当日会場にて受付をしております。

記

開催日 : 平成16年10月16日(土) 13:30~17:00

場 所 : 浦添市民会館 2階中ホール

プログラム: 1. 研究発表会

発表①: 内川の設計について

(県南部土木事務所 高山 秀司)

発表②: 小波津川における住民合意の創意工夫について

(県中部土木事務所 嶺井 直樹)

2. 講演会

講演①「生命を育む水環境を

— 多自然型川づくりにできること —

(西日本科学技術研究所長 福留 脩文)

講演②「宇栄原小学校の環境学習」

(那覇市立宇栄原小学校長 横山 芳春)

平成16年10月8日

問 合 せ 先

沖縄総合事務局 開発建設部	
河川課 課長	佐藤 保之
水資源開発調整官	与那覇 忍
TEL(098)866-0031	内線3611、3616

■ 講師プロフィール ■

福留 脩文（ふくどめ・しゅうぶん）

- ◇1943年 高知県で生まれる
- ◇1967年 東海大学工学部土木工学科卒業後、建設会社に就職
- ◇1974年（株）西日本科学技術研究所を設立 代表取締役就任 現在に至る

土木工学を学び、建設会社に入社後独立、スイスとドイツで起こった近自然河川工法に共鳴、爾来実践に腐心している。活動の一環としてバイオフィット研究会を主宰し、環境問題や地域づくりをテーマに各分野の専門家を招き、公開シンポジウムや講演会を開催、広く情報発信に努めている。

著書に「近自然の歩みー共生型社会の思想と技術」をはじめ多数の執筆を行い、また、各種委員会における委員・アドバイザーなどの公職を引き受けている。

横山 芳春（よこやま・よしはる）

- ◇1954年 福岡県で生まれる
- ◇1977年 関西大学工学部建築学科卒業後、民間コンサルタントを経て那覇市役所に勤務
- ◇2003年 那覇市役所退職後 沖縄県民間人等校長として現在の那覇市立宇栄原小学校校長に就任 現在に至る

建築学を学び、那覇市役所勤務のかたわら国内外の大学にて科学修士（アーバンデザイン）、工学博士（都市計画）を取得、沖縄県NPO活動促進懇話会の座長や沖縄県ボランティア・市民活動支援センター運営委員などにも従事され、各地で積極的に環境、NPO、まちづくり、学校づくりなどの分野の講演を多数おこなっている。

著書に「沖縄型エコツーリズムの試み」「自立する市民と自治体」のほか、市民を育てる教育・環境教育の実践をめざした多数の執筆を行っている。

ウチナー タマミジ 沖縄玉水ネットワークについて

平成9年度に河川法が改正され、河川整備計画の策定にあたり、地域住民の意見等の反映が法制化されました。沖縄の川が地域共有の財産としてより良い川に成熟していくためには、計画のみならず管理まで含めて日頃から地域住民の河川への積極的参加が重要なこととなります。

近年各河川において住民組織の参加活動が図られておりますが、より一層の活動の充実を図るためには、住民組織の参加活動の推進と同時に住民組織のネットワークの構築をより一層図る必要があります。

玉水ネットワークは、県内の河川に係わる住民組織のネットワークの広がり
と連携の推進及び河川に係る行政組織と協働で河川の計画から管理までの住民
参加を推進する方策を追求するものです。

たまみじ
「玉水」とは…水滴状の水が、光を受けたときにキラキラと光り輝く様をいう。その状態
がまるで宝（＝玉）のようだから玉水たまみじという。

